

第 2 回定例会一般質問要旨

NO.1

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 める 者
1	氏家 良美	生鮮食料品等の買い物対策について	町長
所信表明において、まずはトップセールスによる民間ストアーの誘致を目指すとして、先般の選挙においてもこのことに期待して投票した町民も多く、早急な対策の実施が望まれていることと考え3点伺う。 ①いつまでにどの程度の規模のスーパーをどこに誘致するつもりなのか。 ②誘致が早期に進まなかった場合の町としての対応は。 ③大手スーパーの移動店舗の導入、買い物ツアーの仕組みづくりはスーパーの誘致と同時に取り組むのか。また具体的にはどのようなものを想定しているのか。			
2	氏家 良美	開かれた行政について	町長
所信表明において、町民との対話を大切にする行政として、町政懇談会の実施、町民会議等の設置、役場が取り組んでいる政策や取り組もうとしている政策の過程、現状など全ての情報を公開し開かれた行政を実現するとあり、また、町議会との関係についても言及されていますので「開かれた行政」とは具体的にどういうことなのかについて5点伺います。 ①今までの町政懇談会との違いは。 ②町民会議等の設置とあるが常設の機関にするのか。また、その構成員は。 ③取り組もうとする政策に相手方がいた場合の情報公開を制限しなければならない場合の対応は。 ④役場としての態度、方針を決め町議会に諮って最終決定とあるがこれまでとの違いは。 ⑤現在、町として発信しているSNSはいくつあるのか。また新たにに取り組もうとしている情報公開の方法はあるのか。			
3	長浜 謙太郎	これからの診療所体制について	町長
町長は所信表明において、「近隣医療機関との連携の実態と将来展望も併せて検証し、町民の安心・安全のため、病床再開の実現に向け積極的に取り組む。」と述べられましたが、以下の点について伺う。 ①負担金の発生している医療連携は早急に見直すのか。それとも現状を維持しながら有床化を模索し、見通しが立てばいずれ解消となるのか。 ②再び有床化となった場合、財政的負担は大きく申し掛かると思うが、財源確保の目途及び各種政策、特に将来に渡って影響は出ないのか。 ③医師を含めスタッフの確保には多くの困難を極めると思うが、現状どのように取り組みを進めているのか。 ④これらを解決し、有床化に至るまでの具体的なスケジュールは。			

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 める 者
4	荒木 正光	寄贈レコード100万枚達成を契機とした 今後のレ・コード館の運営等について	教育長
		①収集したレコードの今後の利活用について ②今後のレコードのデータベース化の方向性について ③この契機にレ・コード館とレ・コードと言う意義やコンセプトを再認識すべき良い機会と捉えるべき。	
5	堤 俊昭	町名「新冠」を「にいかっぷ」ひらがな表記に	町長
		新冠の地名は、アイヌ語のニカブを漢字表記したものであり、130年以上町民に慣れ親しんだ歴史ある地名です。 しかしながら、難読地名として取り上げられたり特に本州の方からは、正確に読まれる事はほとんど無く、シンカン町やシンカンムリ町と呼ばれる事が多い様に思われます。 私もなんと読むのですかと聞かれた事もあります。今回の提案のきっかけとなったのは、本州から当町に移住された方が、地元の友人・知人の8割が正しくニイカップ町と読むことが出来なかったとの発言でした。 町民向けの配布物にも近年、ひらがな表記の「にいかっぷ」が多くなっている様に感じています。広報にいかっぷ、にいかっぷ議会だより、にいかっぷふるさと祭り等が代表的なものかと思えます。表記に決まりは無く、それぞれ担当者の感性に任されているものだと思いますが、読みやすい、親しみやすいとの思いがひらがな表記にさせているのだと思います。えりも町、新ひだか町、むかわ町、ニセコ町等も読みやすい、書きやすい、覚えやすい、親しみやすいと考え、ひらがな表記にしたのだと思われます。 定住・移住や、交流人口の増加、各種産業振興の大きな力となります。トップセールスの大きな力となってくれます。1年程かけて町民にひらがな表記の考えを知らせ、侃々諤々の意見交換をしてもらい、最終的には是か非かを住民投票によって決定するとのプロセスを考えています。町民が主役の町づくりの大きな一歩となる事は間違いありません。やってみようとの答弁期待しています。	
6	武藤 勝圀	町長の所信表明について	町長
		所信表明を聞いて積極的な施策が述べられており、国保診療所の有床化、生鮮食料品等の買い物対策、給食費の無料化などについて、一刻も早い実現に努力をいただきたいと思えます。 8点にわたる所信表明は具体的で分かりやすいのですが、2点について伺います。 ①6点目に「開かれた行政」と述べられておりますが、具体的内容について伺います。 選挙戦中に出されたものなどを見ると、「町民の声が活かされる町政」「分かりやすく公平公正な町政」「町民と行政の協働の町づくり」を意味しているのかと思うが、町長の考えをお聞かせ下さい。 ②今回の町長選挙では、JR日高線の復旧については争点にならず論争されませんでした。そこで町長の基本認識を伺います。現在、沿線自治体で新組織を立ち上げ11月中旬にも結論を取り組んでいるが、現時点では「全線復旧を求めていく」という方向ですが、町長はこの点を踏襲されていくのか伺います。	

7	武藤 勝瓘	レコードの今後の活用について	教育長
このたびレコードの収集が目標の100万枚に達し、寄贈受付は終了することだが、今後のあり方に係わって2点伺う。 ①今後の課題はレコードの活用だと思う。そのためには、収集、保管、展示などを専門的に行う学芸員の配置が必要と思うが如何ですか。 ②収集レコードの入力加速のために、あらゆる可能性を追求し、データシステムの更新、臨時職員の増員とボランティアの募集、テレワーク等の活用などを早急に検討・具体化することが必要と思うが如何ですか。			
8	武藤 勝瓘	教育問題について	教育長
教育問題について、2点伺います。 ①教育勅語についての政府答弁書では、教育勅語の扱い方の判断を、自治体の教育委員会にゆだねるとしています。教育勅語を道徳など教材として使うことは、憲法や教育基本法に反するものであり、教育現場に持ち込むべきでないと思うが、見解を伺います。 ②教員の長時間労働について伺います。文部科学省の2016年度の教育の勤務実態調査での、新冠での調査結果はどうなっていますか。 また、中学校での部活動指導の時間は、新冠ではどうなっていますか。今年度から発足した「部活動指導員」の現状と今後の取り組みについて伺います。			
9	但野 裕之	ふるさと納税の見直しを	町長
ふるさと納税を通じて寄せられた資金を子育てや教育・まちづくりなどに活用し、地域の活性化に成功している自治体が数ある中、本町の状況はどうだろうか。 町長も代わり、公約を実現するにも元となる財源が必要である。国からの地方交付税に依存し、限りある財源では公約実現にも限度があると思われる。 4月1日付でふるさと納税の返礼品の送付等について総務大臣は通知を行っている。この通知を受け本町も見直しをするものと思われる。 これを機に寄付件数と寄付金の呼び込みを図るために、ふるさと納税の窓口業務を観光協会に発注するなど体制を再構築し、貴重な財源確保で公約実現を目指すべきでは。			

順位	質問議員名	発 言 要 旨	答 弁 を 求 める 者
10	但野 裕之	「道みんなの日」について	町長
		道知事は、5月26日の定例記者会見で、3月定例道議会で制定された7月17日の「北海道みんなの日」（愛称道みんなの日）をPRした。 1869年（明治2年）に松浦武四郎が明治政府に「北加伊道」（ほっかいどう）の名称を提案した日にちなんだと説明。 当日は記念式典を行うほか、博物館など道立施設を無料開放し、7月からは小中学校でも北海道にゆかりのある偉人について学ぶ授業も実施するとしている。 道民が北海道の歴史や風土・文化・産業などについて、理解や関心を深め、その再認識する日になればとしているが、町に対しての働きかけはあるのか。また、町はどのように対応するのか。他町に動きはあるのか。本町の「道みんなの日」に対する考えを求める。	
11	竹中 進一	高齢者の運転による事故の実態と防止対策について	町長
		車社会の今日、移動手段として車はなくてはならないものとなっているが、高齢者の運転ミスによる事故等が多く報道され、当町においても団塊の世代が今後多数高齢免許取得者となることが予想されるが、交通安全の意識向上と予防対策について。 ①当町の近年における高齢運転者による事故等の実態はどのようになっているか。 ②高齢者の運転免許返納の状況とその後の対策は。 ③国も本年3月12日改正道路交通法が施行され、高齢運転免許取得者のための対策が推進されるが、当町も運転の安全意識喚起のため、研修の機会を増やし、シミュレータの体験等に補助するなどして安全運転を更に勧奨してはどうか。 ④高齢者が運転する車に急発進防止装置の取り付けをすすめ、購入の際にも装置の付いた車をすすめるとともに、補助を行って交通安全を図ってはどうか。	